EPSON ES シリーズ
ネットワークガイド

スキャナをネットワーク環境で利用する手順を説明しています。

4020041-00

本書のもくじ

本文中のマークと表記について

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)を記載しています。必ずお読みください。

商標等の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版
Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版
の表記について
本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows Meと表記しています。また、Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows Meを総称する場合は［Windows］、複数のWindowsを併記する場合は［Windows NT/95］のように、Windowsの表記を省略することがあります。

PageManagerはNew Soft, Inc.の商標です。
Adobe、Adobe Photoshop、AcrobatはAdobe Systems Incorporatedの各国での商標または登録商標です。
［Adobe Photoshop］および［Adobe Acrobat Reader］はAdobe Systems Incorporatedの著作物であり、これらにかかる著作権その他の権利はすべてAdobe Systems Incorporatedに帰属します。
IBM PC、DOS/V、IBMはInternational Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
Appleの名称、ロゴ、Macintosh、PowerMacintosh、Power Book、漢字Talk、Apple Talk、LocalTalk、EtherTalk、ColorSync、Open TransportおよびTrueTypeはApple Computer,Inc.の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTおよびInternet Explorerは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Intel、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。

スキャナをネットワークで
利用する仕組み

ここでは、スキャナをネットワーク環境で利用する仕組みについて
説明しています。

スキャナをネットワークで利用する仕組み

スキャナをネットワーク環境で利用する仕組みについて説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

必要なオプション

スキャナをネットワークで利用するには、オプションのネットワークスキャニングボックスが必要です。別途お買い求めください。
ネットワークスキャニングボックスについては、ユーザーズガイドの［オプションの使い方］ー［オプションの紹介］をご覧ください。

スキャナをネットワークで利用する仕組み

ネットワークスキャニングボックスを、スキャナおよびネットワークに接続します。スキャナを利用したいコンピュータには次のソフトウェアをインストールし、これらを利用して画像を取り込みます。

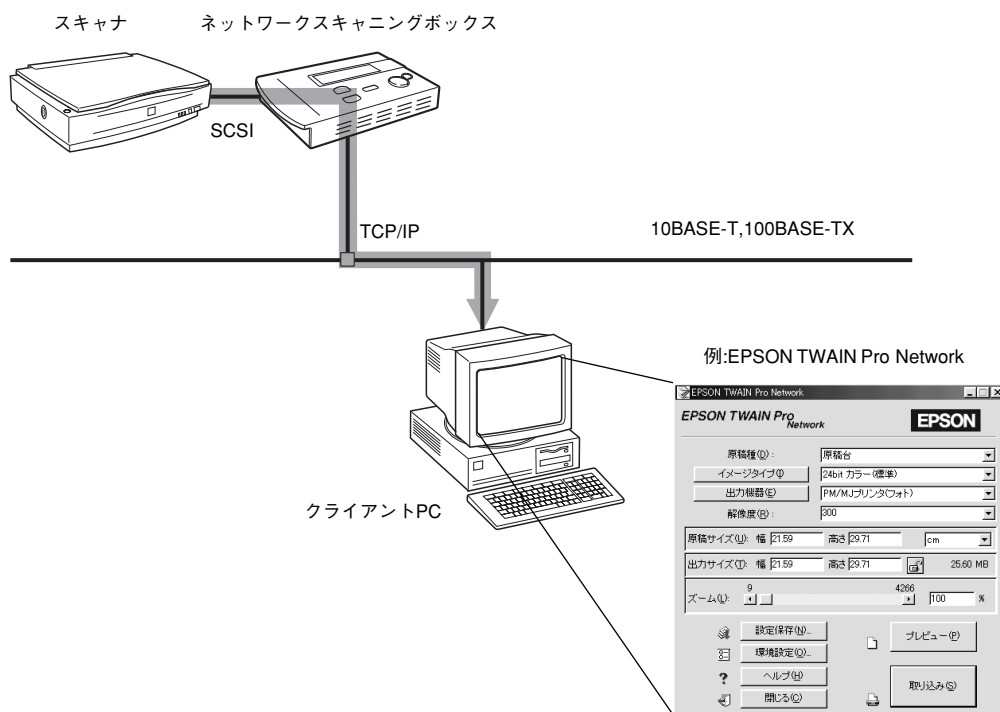
- スキャナに付属している［EPSON TWAIN Pro Network］または［EPSON TWAIN HS Network］
- スキャナに付属している［EPSON Scan to File］または市販の［TWAIN対応アプリケーション］

スキャナ　ネットワークスキャニングボックス

SCSI

TCP/IP　10BASE-T,100BASE-TX

クライアントPC

例:EPSON TWAIN Pro Network

- EPSON TWAIN Pro Network とEPSON TWAIN HS Network の表記について
  本書では、EPSON TWAIN Pro Network とEPSON TWAIN HS Network を総称する場合、EPSON TWAIN xx Network と表記します。
- EPSON TWAIN HS Networkは、Macintoshには対応していません。
- 本書では、ネットワーク上でスキャナを利用するPCを［クライアントPC］と呼びます。

動作環境

スキャナをネットワークで利用するには、次の環境が必要です。

ネットワークスキャニングボックス

ESNSB1またはESNSB2
ネットワークスキャニングボックスはオプションです。詳細はユーザーズガイドの［オプションの使い方］－［オプションの紹介］をご覧ください。

ネットワーク環境

ネットワーク環境の説明については、ネットワーク管理者の方がお読みください。

- ネットワークスキャニングボックスとクライアントPC（EPSON TWAIN xx Network）はTCP/IPプロトコルで通信するため、両方にIPアドレスが必要です。
（ネットワークスキャニングボックスはRARP･BOOTP･DHCPに対応しています。ただし、これらのプロトコルを使用するとIPアドレスが自動的に割り当てられるため、クライアントPCでEPSON TWAIN xx Networkを使用する際、ネットワークスキャニングボックスに割り当てられたIPアドレスを都度指定し直す必要があります。IPアドレスが頻繁に変わると不便ですので、ネットワークキャニングボックスはIPアドレスを自動取得せず、個別に設定することをお勧めします）
- ネットワークスキャニングボックスは10BASE-T/100BASE-TX自動切替ですので、どちらの形態でも接続可能です。しかしネットワークが高速であるほど画像取り込みが高速になるため、100BASE-TXの高速ネットワークおよび、ネットワーク負荷の軽い環境での使用をお勧めします。
なお、100BASE-TX 専用HUBを使用する場合は、接続されるすべての機器が100BASE-TX対応であることを確認してください。
- 高解像度の画像データを取り込むと、膨大な量のデータがネットワーク上を流れます。必要に応じて、スキャナを共有するPCのセグメントを他のセグメントと分けるなど、スキャナの使用頻度やデータ容量に合わせたネットワーク環境にしておいてください。
☞「画像データ容量について」8 ページ
- ネットワークスキャニングボックス（スキャナ）とクライアント PC は、同一セグメント内での使用をお勧めします（セグメントを越えて利用することもできますが、ネットワーク環境やデータ容量によってはネットワークの負荷が増加し、不具合が起こる可能性があります）。

EPSON TWAIN xx Network

EPSON TWAIN xx Networkでの画像取り込みに必要な環境は次の通りです。
※EPSON TWAIN HS Networkは、Macintoshには対応していません。

Windowsの場合

<table>
<tr><td colspan="2">CPU</td><td>Pentium以上（MMX Pentium 166MHz以上を推奨）</td></tr>
<tr><td colspan="2">OS</td><td>• Windows 95/98/Me
• Windows NT4.0 Workstation
• Windows 2000 Professional
このほかのOSでは使用できません。またWindows 95でも、16bit版のTWAIN対応アプリケーションでは使用できませんのでご注意ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示</td><td>解像度</td><td>640×480ドット以上（1,024×768ドット以上を推奨）</td></tr>
<tr><td>色数</td><td>High Color（16ビット）以上（True Color（32ビット）を推奨）
※ 256色表示になっている場合、表示解像度を下げる（例：1,024×768→800×600）と、High Colorで表示できるようになります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリ</td><td>カラー原稿の取り込みでは、64MB以上を推奨します。
メモリ容量は、多いほど有利です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハードディスク</td><td>必要な容量は画像データによります。次ページに、画像データ容量の目安を記載していますので参考にしてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">プロトコル</td><td>TCP/IPプロトコルが組み込まれ、IPアドレスが設定されていること</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワークボード</td><td>PCメーカーによって保証されたネットワークボード、ドライバを使用すること</td></tr>
</table>

Macintoshの場合(EPSON TWAIN Pro Networkのみ)

<table>
<tr><td colspan="2">CPU</td><td>PowerPC（68000系では使用不可）</td></tr>
<tr><td colspan="2">OS</td><td>Mac OS 8.1〜9.x</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表示</td><td>解像度</td><td>640×480ドット以上（1,024×768ドット以上を推奨）</td></tr>
<tr><td>色数</td><td>32,000色以上（1,670万色を推奨）</td></tr>
<tr><td colspan="2">メモリ</td><td>カラー原稿の取り込みでは、64MB以上を推奨します。
メモリ容量は、多いほど有利です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ハードディスク</td><td>必要な容量は画像データによります。次ページに、画像データ容量の目安を記載していますので参考にしてください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">TCP/IP</td><td>IPアドレスが設定されていること</td></tr>
</table>

画像データ容量について

画像取り込み時の解像度などの設定によっては、膨大な量のデータがネットワーク上を流れてしまいます。そのため、取り込む画像の用途に合わせて、適切な解像度で取り込んでください。解像度設定の目安は次の通りです。

取り込む画像の用途	解像度	容量の目安（非圧縮）
文書ファイリング	300dpi	A4、モノクロで約1.0MB
ディスプレイ表示用途のみ	96dpi	1,024×768ドット、 24bitカラーで約4.0MB
EPSON カラーインクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi	A4、24bitカラーで約6.1MB
EPSON カラーインクジェットプリンタでのフォト/スーパーファイン印刷	300dpi	A4、24bitカラーで約24.5MB
カラーレーザープリンタでの印刷	200dpi	A4、24bitカラーで約11MB
モノクロレーザープリンタでの印刷	200dpi	A4、8bitグレーで約3.7MB
文字原稿の認識（OCR）	400dpi	A4、モノクロで約1.8MB

備考/ご注意

- 解像度が2倍になると、容量は約4倍になります。また原稿サイズが2倍になると、容量は約2倍になります。
- 取り込む画像の容量の目安は、EPSON TWAIN xx Networkの［出力サイズ］または［原稿サイズ］項目で確認することができます。
- ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の2倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。
- スキャナの機種によっては24bitを越える階調での取り込みができますが、24bitを越える階調のデータは、24bitデータの2倍の容量になります。そのため、不必要に24bitを越える階調で取り込まないでください。
- 大きな画像データを取り込む必要がある場合は、ネットワークユーザー数（ネットワークの負荷）が少ない時に行うなどの配慮をしてください。

準備作業

ここでは、ネットワーク経由で画像を取り込むための準備作業について説明しています。

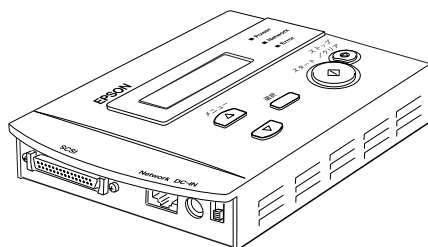
準備の流れ

スキャナをネットワークで利用するための準備作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

① ネットワークスキャニングボックスのセットアップ

ネットワークスキャニングボックスをスキャナとネットワークに接続し、ネットワークスキャニングボックスの各種アドレスを設定します。

☞ ネットワークスキャニングボックスの取扱説明書

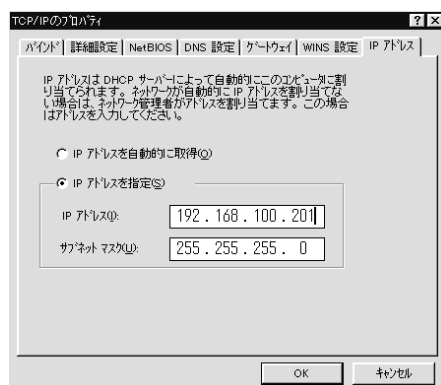
<ESNSB1>

② クライアントPCのTCP/IP設定

クライアントPCの各種アドレスを設定します(OSによってはTCP/IPプロトコルの組み込みが必要です)。

TCP/IPは、ネットワークスキャニングボックスとクライアントPCが通信するために必要です。

☞「TCP/IP設定」11ページ

- TCP/IPを設定済みの場合は、③に進んでください。
- TCP/IP　設定では各種ネットワークアドレスなどの知識が必要なため、ネットワーク管理者の方が行うことをお勧めします。

<Windows 95/98の設定画面>

③ クライアントPCにソフトウェアをインストール

EPSON TWAIN xx Network および、EPSON Scan to FileなどのTWAIN対応アプリケーションをインストールします。

☞「ソフトウェアのインストール」17ページ

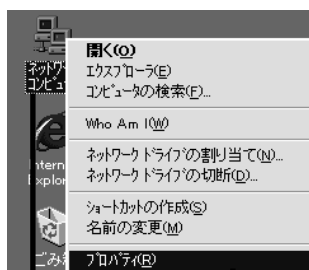
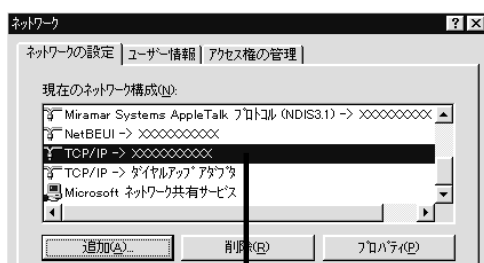
<EPSON TWAIN Pro Network>

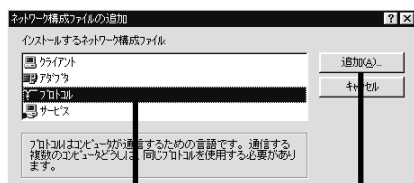
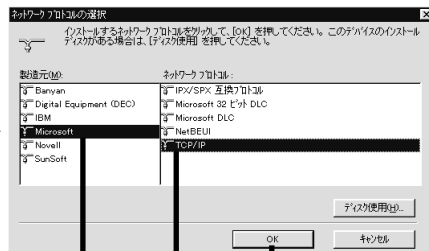
TCP/IP設定

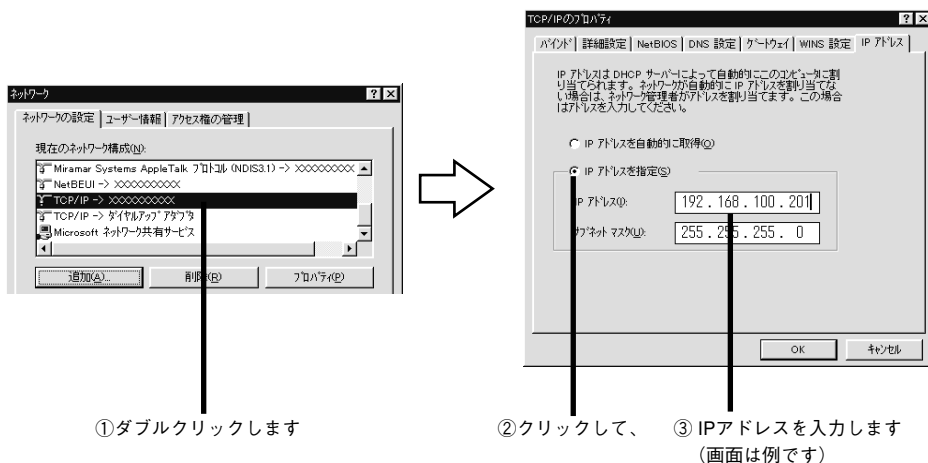
ポイント

TCP/IP設定において、IPアドレスなどを設定する必要があります。IPアドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
IPアドレスとは、ネットワーク上で機器を識別するための識別子のことです。
「用語集」60 ページ

Windows 95/98/Meの場合

1 ①［ネットワークコンピュータ］または［マイ ネットワーク］アイコンを右クリックし、②［プロパティ］を選択します。③［現在のネットワーク構成］または［ネットワークコンポーネント］に、［TCP/IP］があることを確認します。

2 ［TCP/IP］がない場合は、［追加］ボタンをクリックします。
［TCP/IP］がある場合は、設定の必要はありません。［キャンセル］ボタンをクリックし、以下のページに進んでください。
「ソフトウェアのインストール」17 ページ

3 ①［プロトコル］を選択し、②［追加］ボタンをクリックします。③［製造元］でMicrosoft、④［ネットワークプロトコル］でTCP/IPを選択し、⑤［OK］ボタンをクリックします。
TCP/IP が追加されます。

4 **①追加された［TCP/IP］をダブルクリックします。②［IPアドレスを指定］を選択し、③IPアドレスを入力します。**

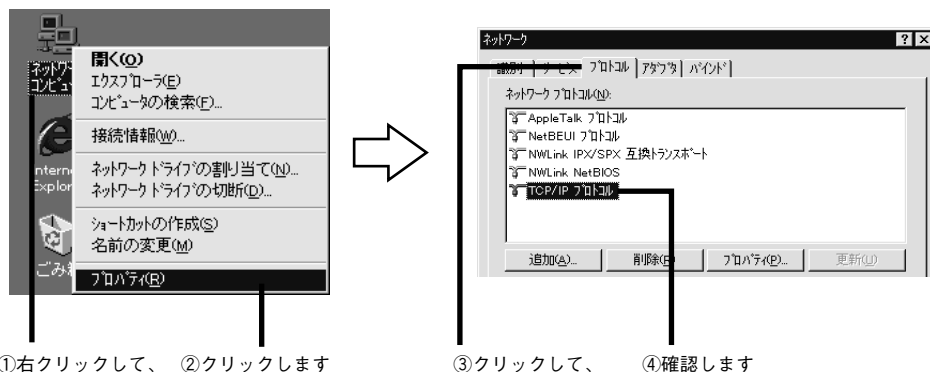
IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
他のアドレスは、ネットワーク環境に応じて設定してください。

5 **［OK］ボタンをクリックします。［ネットワーク］画面に戻るので、［OK］ボタンをクリックしてください。**

これで TCP/IP 設定は終了です。しばらくすると［再起動しますか？］と表示されるので、［はい］を選択してコンピュータを再起動してください。
再起動したら、ソフトウェアをインストールしてください。

☞「ソフトウェアのインストール」17 ページ

Windows NT4.0の場合

Windows NT4.0のCD-ROMが必要です。

1 **①［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、②［プロパティ］を選択します。③［プロトコル］タブをクリックし、④［ネットワークプロトコル］に［TCP/IPプロトコル］があることを確認します。**

2 **［TCP/IPプロトコル］がない場合は、［追加］ボタンをクリックします。**

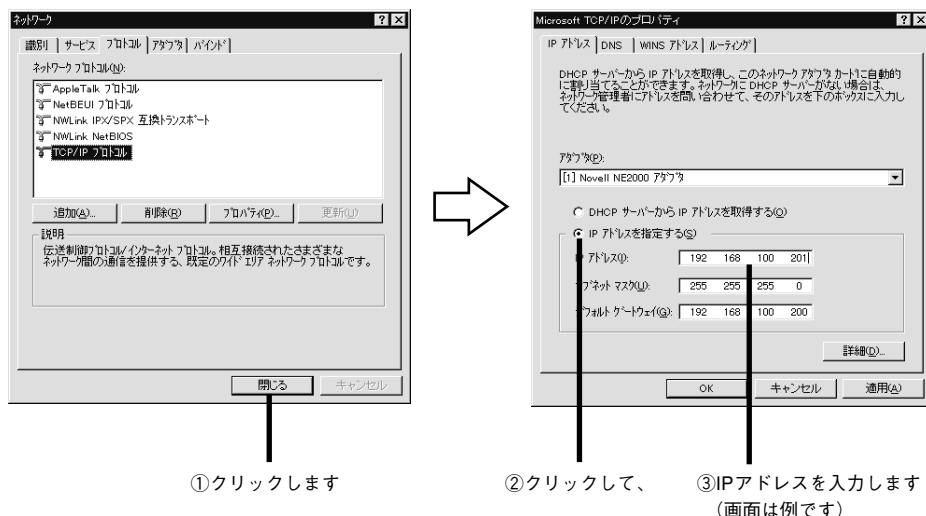
［TCP/IP プロトコル］がある場合は、設定の必要はありません。［キャンセル］ボタンをクリックし、以下のページに進んでください。

☞「ソフトウェアのインストール」17 ページ

3 **①［ネットワークプロトコル］で TCP/IP プロトコルを選択し、②［OK］ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、③Windows NT4.0のCD-ROMをセットして、［続行］ボタンをクリックします。**

右の画面は、CD-ROM ドライブが F ドライブの場合の例です。表示されたドライブ名が実際のドライブ名と異なる場合は、正しいドライブ名を入力してください。

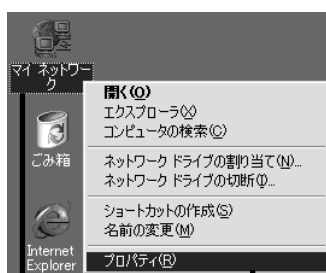
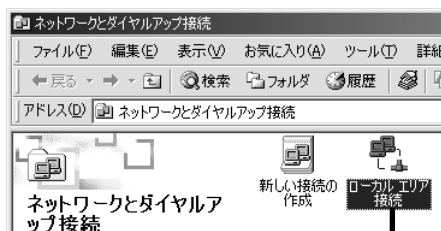
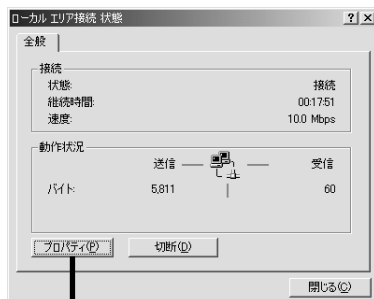
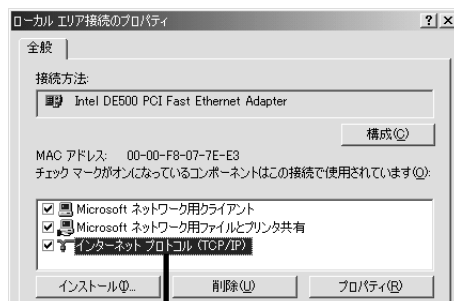
4 **［ネットワーク］画面に戻りますので、①［閉じる］ボタンをクリックします。右の画面が表示されますので、②［IPアドレスを指定する］を選択し、③IPアドレスを入力します。**

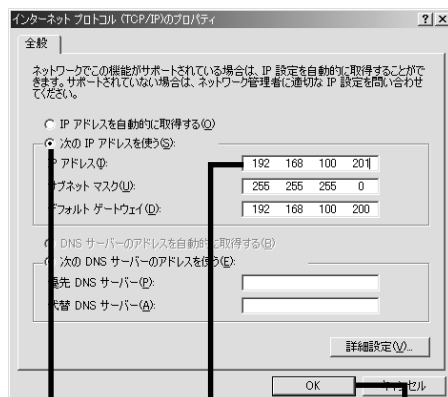
IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
他のアドレスは、ネットワーク環境に応じて設定してください。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

これで TCP/IP 設定は終了です。しばらくすると［今すぐコンピュータを再起動しますか？］と表示されますので、［はい］を選択してコンピュータを再起動してください。
再起動したら、ソフトウェアをインストールしてください。

☞「ソフトウェアのインストール」17 ページ

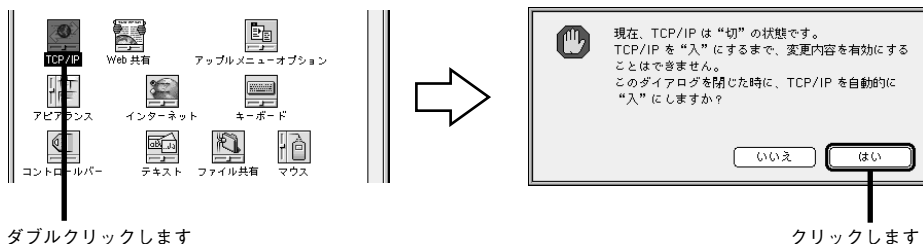
Windows 2000の場合

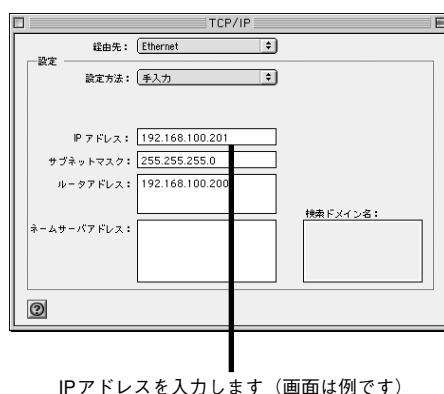
1 ①［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、②［プロパティ］を選択します。③［ローカルエリア接続］アイコンをダブルクリックします。

2 ①［プロパティ］ボタンをクリックします。次に表示される画面で②［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。

3 **①［次のIPアドレスを使う］を選択します。②IPアドレスを入力し、③［OK］ボタンをクリックします。**

IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
他のアドレスは、ネットワーク環境に応じて設定してください。

4 **［ローカルエリア接続のプロパティ］画面に戻るので、［OK］ボタンをクリックしてください。**

これで TCP/IP 設定は終了です。この後は、以下のページに進んでください。
「ソフトウェアのインストール」17 ページ

Macintoshの場合

1 **コントロールパネルの［TCP/IP］をダブルクリックして起動します。**
この時に右の画面が表示されたら、［はい］ボタンをクリックしてください。

2 **IPアドレスを入力します。**
IP アドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
他のアドレスは、ネットワーク環境に応じて設定してください。

IPアドレスを入力します（画面は例です）

3 **クローズボックス（画面左上の□）をクリックします。**
これで IP アドレスの設定は終了です。［変更内容を現在の設定に保存しますか？］と表示されたら、［保存］ボタンをクリックしてください。
この後は、以下のページに進んでください。
☞「ソフトウェアのインストール」17 ページ

ソフトウェアのインストール

コンピュータに、スキャナを使用するためのソフトウェア［EPSON TWAIN xx Network］および、EPSON Scan to FileなどのTWAIN 対応アプリケーションをインストールします。

スキャナとネットワークスキャニングボックスの準備

1 スキャナおよび、ネットワークスキャニングボックスの電源をオンにします。

詳しくは、ネットワークスキャニングボックスの取扱説明書をご覧ください。

ポイント

EPSON TWAIN xx Network をインストール後、ネットワークスキャニングボックスと通信して接続の設定とテストを行います。そのため、EPSON TWAIN xx Network をインストールする前に、スキャナおよびネットワークスキャニングボックスの電源をオンにしておいてください。

2 コンピュータにソフトウェアをインストールします。

「Windows でのインストール」下記
「Macintosh でのインストール」24 ページ（EPSON TWAIN Pro Network のみ）

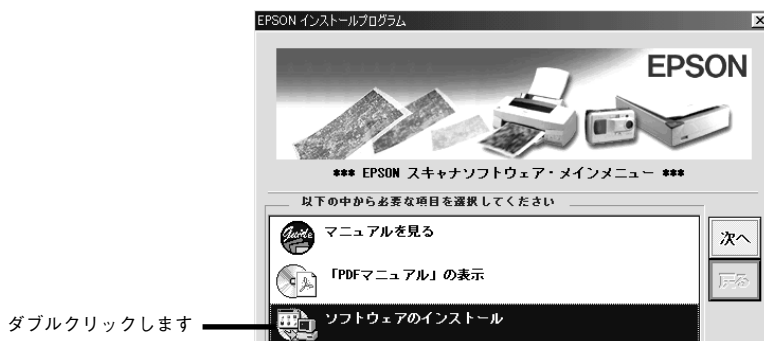
Windowsでのインストール

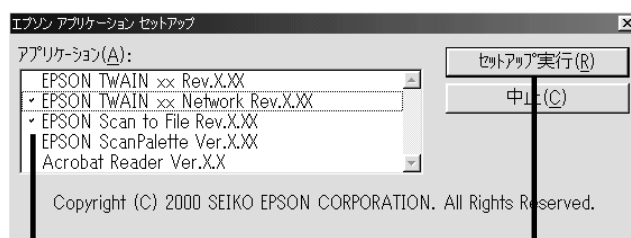
1 クライアントPCを起動します。

ポイント

Windows NT またはWindows 2000をお使いの場合は、Administratorの権限でログオンしておいてください。

2 スキャナに付属の ソフトウェアCD-ROMをセットします。

しばらくすると次の画面が自動的に表示されますので、［ソフトウェアのインストール］をダブルクリックします。

3 **①インストールするソフトウェアの名称をチェックし（下表参照）、②［セットアップ実行］ボタンをクリックしてインストールを実行します。**

リスト内で名称がチェック（✔）されているソフトウェアがインストールされます。リスト内の名称をクリックするとチェックをオン／オフできます。必要なソフトウェアの名称のみチェックしてください。

ソフトウェア	説明
EPSON TWAIN xx Network	スキャナを使用するために必要
EPSON Scan to File	スキャナを使用するために必要（TWAIN対応アプリケーションをインストール済みの場合は、必須ではありません）
EPSON ScanPalette	TWAIN対応の画像ビューアソフトです。次の場合はインストールをお勧めします。 ● ネットワークスキャニングボックスのサーバスキャン機能を利用する場合（サーバスキャンフォーマットに対応） ● A3 スキャナをお使いで、オプションの ADF（オートドキュメントフィーダ）を装着している場合（一括回転や並べ替えなど、ADF使用時に便利な機能があります）
EPSON TWAIN Pro	不要 （Windows 95/NTの場合はチェックされていますので、チェックを外してください。また、Windows 98/2000/Meでは表示されません）

EPSON TWAIN xx Networkのインストール

ポイント

インストール前の確認事項

インストールをはじめる前に、ネットワークスキャニングボックスのIPアドレスを確認しておいてください(ネットワークスキャニングボックスの設定をした方にお問い合わせください)。

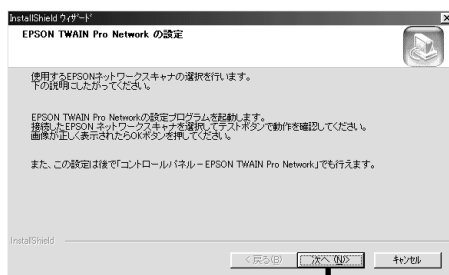
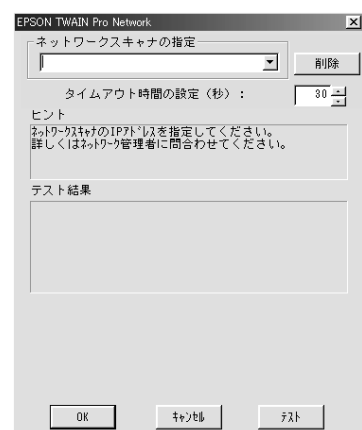
IPアドレスとは、ネットワーク上で機器を識別するための識別子のことです。

「用語集」60ページ

1 **最初に次の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。**

インストールがはじまります。

2 **EPSON TWAIN xx Networkのインストールが終了すると左の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。**

[EPSON TWAIN xx Network]画面(右の画面)が表示されます。

この画面では、スキャナの接続設定とテストを行います。

画面は、EPSON TWAIN Pro Networkでの例です。

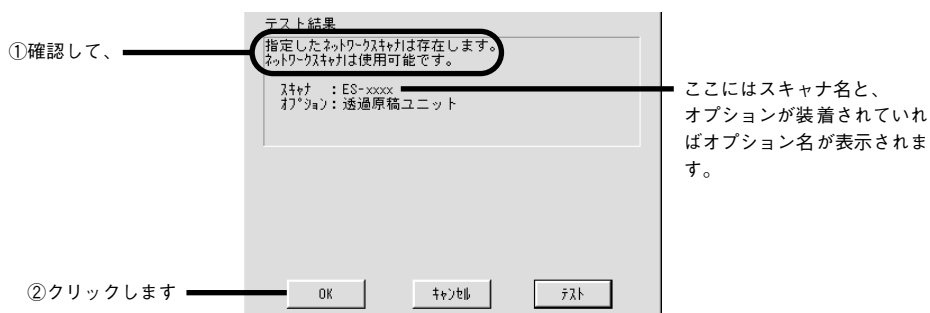
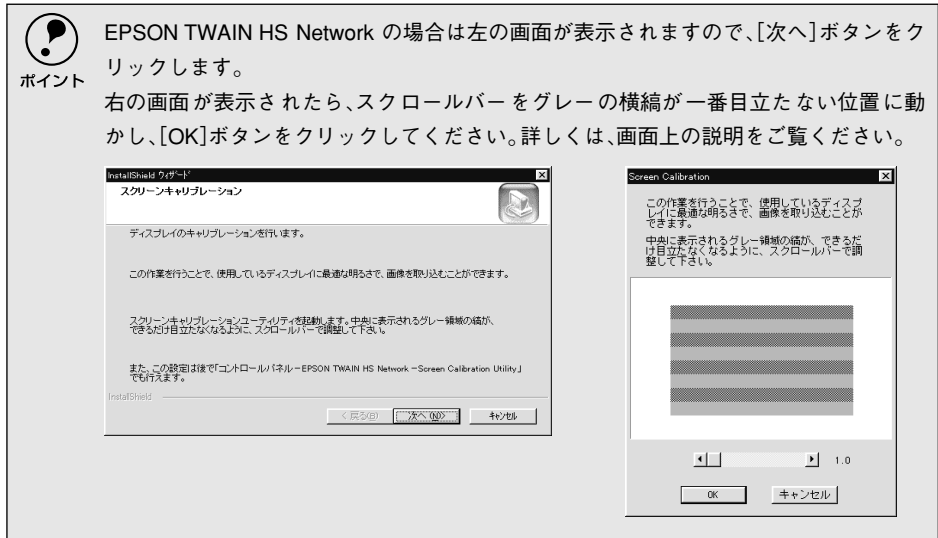
3 ①ネットワークスキャニングボックスのIPアドレスを入力し、②［テスト］ボタンをクリックします。

ポイント

- IP アドレスについては、ネットワークスキャニングボックスの設定をした方にお問い合わせください。
- Windows NT/2000 を複数のユーザーでご使用の場合は、ログインユーザーごとに IP アドレスを設定して接続の確認をしてください。

4 ①次のメッセージが表示されることを確認して、②［OK］ボタンをクリックします。

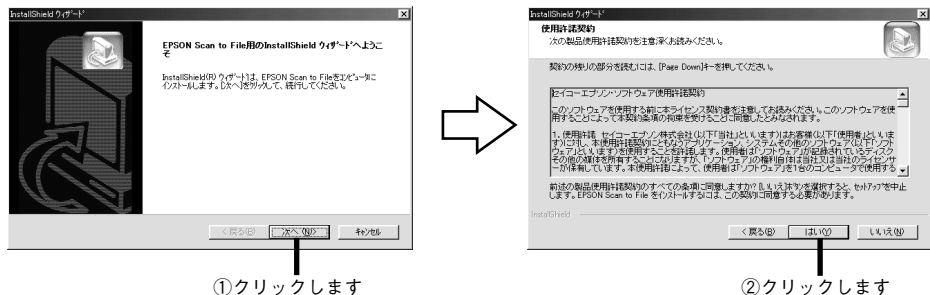
違うメッセージが表示される場合は、さまざまな原因が考えられます。以下のページを参照して対処してください。

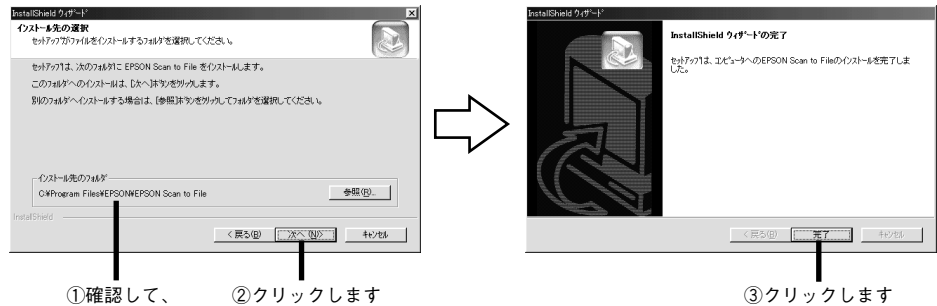
☞「接続テストでのエラー」44 ページ

5 ［EPSON TWAIN xx Networkのセットアップが完了しました］と表示されたら、［完了］ボタンをクリックしてください。

これで EPSON TWAIN xx Network のインストールは終了です。
なお、インストールによって登録される内容について、以下のページで説明しています。必要に応じてご覧ください。

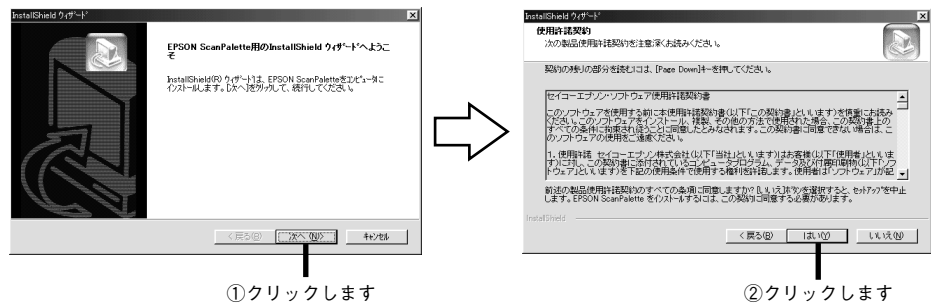
「インストールによって登録される内容」58 ページ

EPSON Scan to Fileのインストール

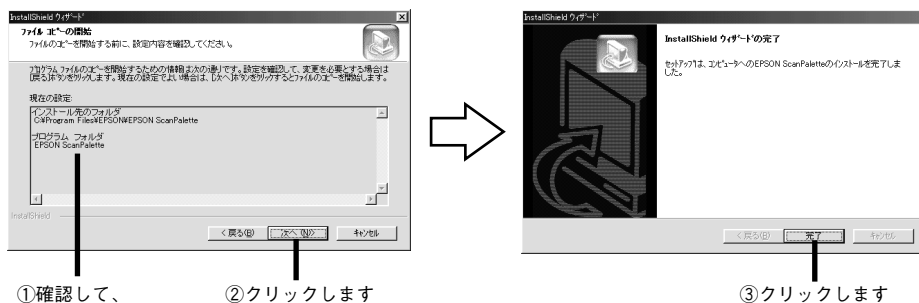
6 EPSON Scan to Fileのインストーラが表示されたら、①［次へ］ボタンをクリックします。使用許諾約款が表示されますので、同意いただける場合は、②［はい］ボタンをクリックしてください。

7 **①インストール先のフォルダを確認し、よければ②［次へ］ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、インストールは終了です。③［完了］ボタンをクリックしてください。**

通常は、インストール先のフォルダを変更する必要はありません。

EPSON ScanPaletteのインストール

EPSON ScanPaletteを選択した場合は、次の手順でインストールします。

8 **EPSON ScanPaletteのインストーラが表示されたら、①［次へ］ボタンをクリックします。使用許諾契約書が表示されますので、同意いただける場合は、②［はい］ボタンをクリックしてください。**

9 **①インストール先のフォルダを確認し、よければ②［次へ］ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、③登録するプログラムフォルダを確認し、よければ④［次へ］ボタンをクリックしてください。**

通常は、インストール先のフォルダおよび、プログラムフォルダを変更する必要はありません。

10 ①設定を確認し、②［次へ］ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、インストールは終了です。③［完了］ボタンをクリックしてください。

ポイント

EPSON ScanPaletteをインストールした場合、使用方法については、EPSON ScanPaletteのPDFマニュアルをご覧ください。

11 **アプリケーションのインストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。**

コンピュータが再起動したら、下記のページに進んでください。

「ネットワーク経由での取り込み方」27 ページ

Macintoshでのインストール

インストールをはじめる前に、アンチウィルスなどの起動中のすべてのアプリケーションを閉じておいてください。アプリケーションが起動していると、エラーが出てインストールが正常に終了しない場合があります。

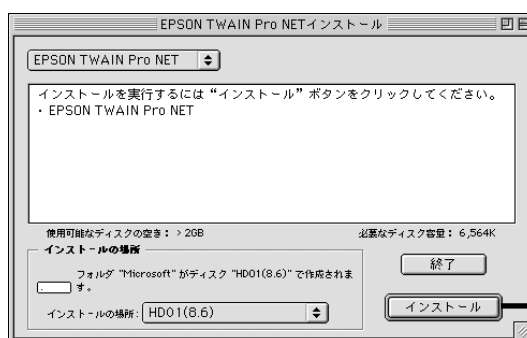
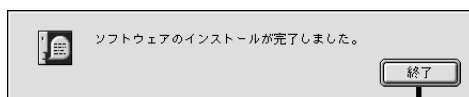
ポイント

インストール前の確認事項
インストールをはじめる前に、ネットワークスキャニングボックスのIPアドレスを確認しておいてください(ネットワークスキャニングボックスの設定をした方にお問い合わせください)。
IPアドレスとは、ネットワーク上で機器を識別するための識別子のことです。
「用語集」60 ページ

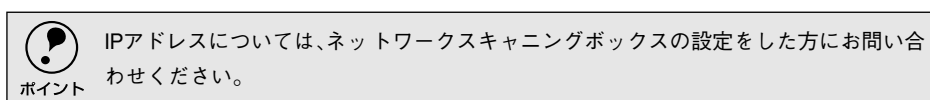
1. Macintoshを起動し、スキャナに付属のソフトウェアCD-ROMをセットします。

EPSON TWAIN Pro Networkのインストール

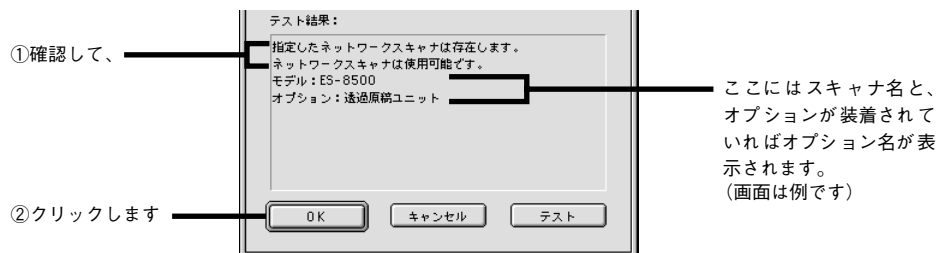
2. ①CD-ROM内の［EPSON TWAIN Pro NET］フォルダをダブルクリックして開きます。②［EPSON TWAIN Pro NETインストール］アイコンをダブルクリックしてインストーラを起動します。

3. ［インストール］ボタンをクリックしてインストールを実行します。

4 次の画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックします。

［EPSON TWAIN Pro Network］画面が表示されますので、スキャナの接続の設定とテストを行います。

5 ①ネットワークスキャニングボックスのIPアドレスを入力し、② ［テスト］ボタンをクリックします。

IPアドレスについては、ネットワークスキャニングボックスの設定をした方にお問い合わせください。

6 ①次のメッセージが表示されることを確認して、②［OK］ボタンをクリックします。

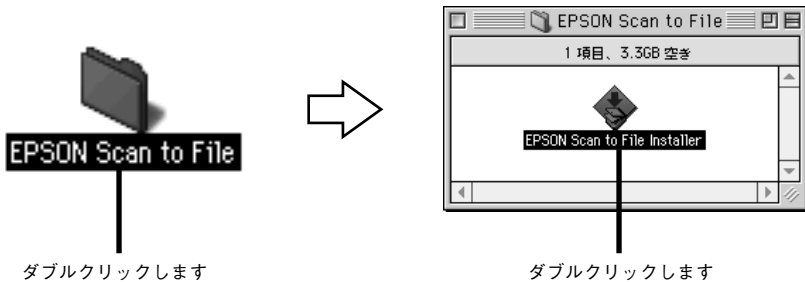
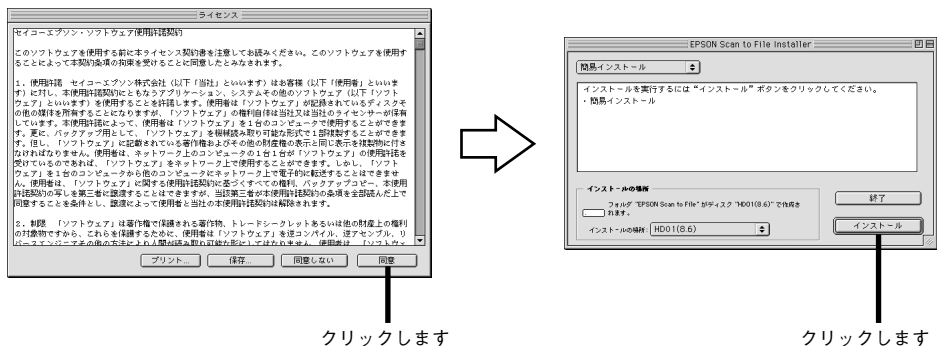
違うメッセージが表示される場合は、さまざまな原因が考えられます。以下のページを参照して対処してください。

「接続テストでのエラー」44 ページ

これでEPSON TWAIN Pro Networkのインストールは終了です。

なお、インストールによって登録される内容について、以下のページで説明しています。必要に応じてご覧ください。

「インストールによって登録される内容」58 ページ

EPSON Scan to Fileのインストール

1. CD-ROM内の［EPSON Scan to File］フォルダをダブルクリックして開き、インストーラのアイコンをダブルクリックします。

2. ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。同意いただける場合は、［同意］ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、［インストール］ボタンをクリックしてください。

3. ［ソフトウェアのインストールが完了しました］と表示されたら、［終了］ボタンをクリックしてください。

4. Macintoshを再起動してください。
必ず、Macintosh を再起動してください。再起動しないとスキャナおよびアプリケーションが使用できない場合があります。

これでセットアップは終了です。Macintosh が再起動したら、下記のページに進んでください。
「ネットワーク経由での取り込み方」27 ページ

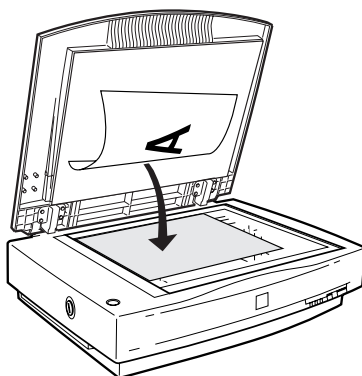
ネットワーク経由での取り込み方

ここでは、ネットワーク経由での取り込み手順を説明しています。

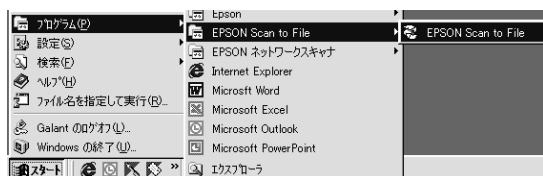
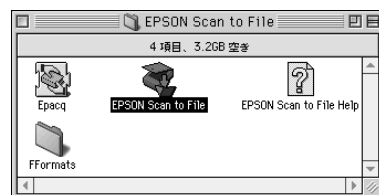
EPSON Scan to Fileでの取り込み

スキャナ側の準備

1. **スキャナおよび、ネットワークスキャニングボックスの電源をオンにします。**
   詳しくは、ネットワークスキャニングボックスの取扱説明書をご覧ください。

2. **スキャナに原稿をセットします。**

EPSON Scan to Fileの起動

以降では､EPSON Scan to FileからEPSON TWAIN xx Networkを起動して取り込む手順を説明します。
EPSON Scan to Fileを使わず、Adobe Photoshopなどの市販のTWAIN対応アプリケーションからEPSON TWAIN xx Networkを起動して取り込む場合は、下記のページをご覧ください。
「他のアプリケーションでの取り込み」38 ページ

<Windows>
[スタート]ボタンー[プログラム]ー[EPSON Scan to File]ー[EPSON Scan to File]の順にクリックして起動します。

<Macintosh>
[EPSON Scan to File]フォルダの[EPSON Scan to File]アイコンをダブルクリックします。

または､アップルメニューからも起動できます。

EPSON Scan to Fileが起動すると、[保存ファイルの設定] 画面が表示されます。

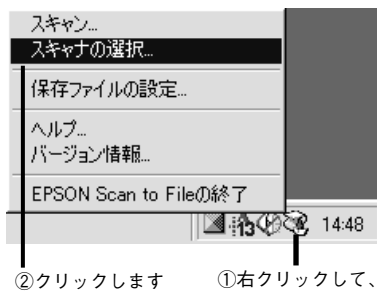
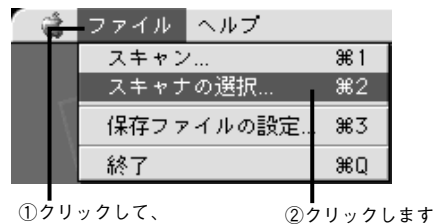
<Windows>

<Macintosh>

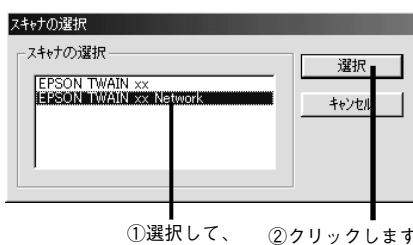
スキャナの選択

コンピュータにインストールしているTWAINドライバがEPSON TWAIN xx Networkのみの場合、選択は不要です。次ページの「保存ファイルの設定」に進んでください。
コンピュータに、複数のTWAINドライバ（EPSON TWAIN xx NetworkとEPSON TWAIN xxなど）をインストールしている場合は、次の手順でEPSON TWAIN xx Networkを選択します。

1 EPSON Scan to Fileのメニューから、[スキャナの選択] を選びます。

<Windows>
タスクトレイの[EPSON Scan to File]アイコンを右クリックし、[スキャナの選択]を選びます。

<Macintosh>
[ファイル]メニューから[スキャナの選択]を選びます。

2 EPSON TWAIN xx Networkを選択して、[選択] ボタンをクリックします。

<Windows>

<Macintosh>

保存ファイルの設定

1 ［保存ファイルの設定］画面で、取り込んだ画像を保存するフォルダ・ファイル名・ファイル形式などを設定します。

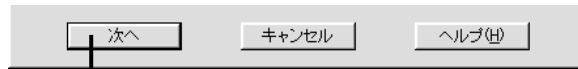
<Windows>

<Macintosh>

各設定項目の初期値は次の通りです。まずは、このままで取り込んでみてください。設定を変更する場合、各項目の詳細については、EPSON Scan to File のヘルプをご覧ください。

設定項目	説明
保存先	取り込んだ画像を保存するフォルダです。後で画像を開く時はこのフォルダを指定しますので、フォルダ名を覚えておいてください。 初回起動時は、EPSON Scan to File がインストールされているフォルダが選択されています。
ファイル名（文字列＋数字3桁）	画像のファイル名です。初期設定では、img001、img002、img003・・・となります。
保存形式	画像の保存形式です。初期設定では、WindowsはBITMAP、MacintoshはJPEGが選択されています。
［同一ファイル名が存在する場合、常に上書きする］チェックボックス	初期設定ではチェックが外れており、同一名のファイルが存在していた場合、番号をスキップします。チェックを外したままにしておくことをお勧めします。
［次回スキャン前に、このダイアログを表示する］チェックボックス	初期設定ではチェックされており、EPSON Scan to Fileの起動時などに［保存ファイルの設定］ダイアログが表示されます。

2 ［次へ］ボタンをクリックします。

［保存ファイルの設定］画面が閉じ、EPSON TWAIN xx Network が起動します。

クリックします

ポイント

次の時はEPSON TWAIN xx Network を起動できません（エラーになります）のでご注意ください。

- スキャナおよびネットワークスキャニングボックスの準備ができていない場合
- 他の人がスキャナを使用中の場合

また、EPSON TWAIN xx Network を起動したまま放置すると、他の人がスキャナを使用できませんのでご注意ください（この場合、約15分でEPSON TWAIN xx Network が強制終了されます）。

<EPSON TWAIN Pro Network>

「EPSON TWAIN Pro Networkでの取り込み」32 ページ

<EPSON TWAIN HS Network>

「EPSON TWAIN HS Networkでの取り込み」35 ページ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。詳しくは、下記のページをご覧ください。

「ヘルプとユーザーズガイドのご案内」39 ページ

ポイント

- ［EPSON TWAIN xx Network］画面が表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、下記のページを参照して対処してください。
  「EPSON TWAIN xx Network起動時のエラー」46 ページ
- 次ページ以降で簡単な取り込み手順を説明しますが、同様の説明がEPSON TWAIN xx Network のヘルプにありますのでご利用ください。［EPSON TWAIN xx Network］画面左下の［ヘルプ］ボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。
- EPSON TWAIN Pro Network は、Windows 、Macintosh ともに同じ手順で操作できます。以降の説明では、Windows 版の画面を例に説明します。

EPSON TWAIN Pro Networkでの取り込み

詳細な取り込み手順については、ヘルプの［詳細な取り込み手順］をご覧ください。

1 原稿種、イメージタイプ、出力機器などを設定します。

部は初期設定です。

原稿種:

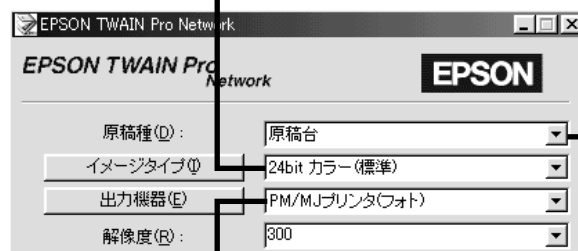
スキャナにオプションを装着していない場合は設定不要です（グレー表示されます）。オプションを使って原稿を取り込むかどうかを選択します。選択肢は次の通りです。

- 原稿台
- ADF－××（A3スキャナは片面/両面を選択可）
- 透過原稿ユニット－××（××はネガ/ポジ。ES-6000HSを除く）

オプションを装着していても、スキャナの原稿台（ガラス面）にセットした反射原稿（紙などの光を反射する原稿）を取り込む時は、［原稿台］を選択します。

イメージタイプ:

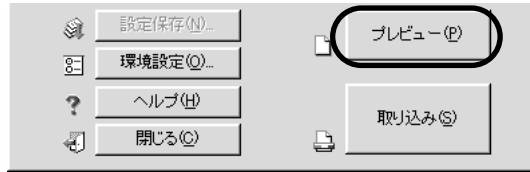
取り込む画像の色数の設定を、リストの中から選択します。定義済みの主な設定は次の通りです。

- 24bitカラー （カラー取り込みに適した設定）
- 8bitグレー （白黒写真の取り込みに適した設定）
- OCR （文字原稿の取り込みに適した設定）

出力機器:

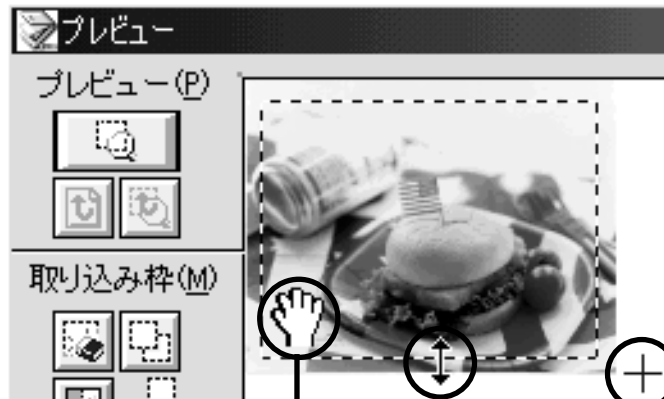
画像を最終的に出力する機器をリストから選択します。この設定によって、出力機器に合わせての、解像度とアンシャープマスクの設定を行います。定義済みの主な設定は次の通りです。

- スクリーン/Web（ディスプレイ表示に適した設定）
- PM/MJプリンタ（での印刷に適した設定）
- OCR （文字原稿の取り込みに適した設定）

2 **［プレビュー］ボタンをクリックして原稿をプレビュー（仮取り込み）します。**

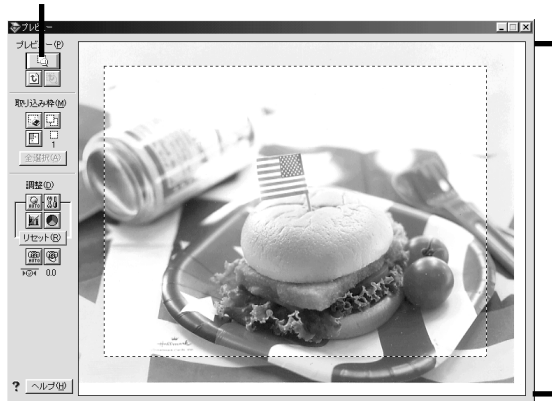
プレビューウィンドウとデンシトメータウィンドウが表示されます。
初期設定では、プレビュー後、露出（明暗）が自動調整されます。

> ポイント
> ［デンシトメータ］ウィンドウについて
> マウスカーソルをプレビュー画面上に移動すると、カーソル位置近傍の画素情報が［デンシトメータ］ウィンドウに表示されます。
> ［デンシトメータ］ウィンドウでは、カーソル位置近傍のピクセルのRGB値や輝度などを確認できます。詳しくはヘルプの「デンシトメータウィンドウ」をご覧ください。

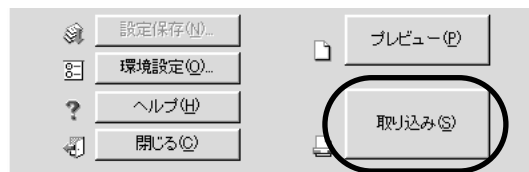
3 **プレビューウィンドウで、取り込み枠をドラッグして作成します。**

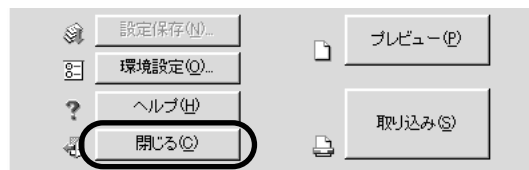
ドラッグ･･･マウスボタンを押しながらマウスを動かすこと

> ポイント
> 初期設定では、上記の操作を行うと、取り込み枠内の露出（明暗）が自動調整されます。

4 **取り込む領域が小さい場合は、［ズームプレビュー］ボタンをクリックして取り込み枠をズーム表示し、取り込む領域を微調整します。**

初期設定では、ズームプレビュー後、取り込み枠内の露出（明暗）が自動調整されます。

クリックします

取り込み枠をズーム表示し、露出が自動調整されます

5 **［EPSON TWAIN Pro Network］画面の［取り込み］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。**

取り込んだ画像が、自動的に保存されます（取り込んだ画像は画面表示されません）。

6 **［EPSON TWAIN Pro Network］画面の［閉じる］ボタンをクリックし、EPSON TWAIN Pro Networkを閉じます。**

これで画像の取り込みは終了です。

ポイント

- EPSON TWAIN Pro Networkを閉じても、EPSON Scan to Fileは終了しません。再度取り込む場合の手順や、EPSON Scan to Fileの終了方法などについては、下記のページをご覧ください。
  「EPSON Scan to Fileの操作」37 ページ
- EPSON Scan to Fileには、画像を表示したり編集する機能はありません。画像の表示や編集を行う場合は、市販のグラフィックソフトをお使いください。なお、グラフィックソフトで画像を開く際は、［保存ファイルの設定］画面で選択されているフォルダを指定してください。

EPSON TWAIN HS Networkでの取り込み

詳細な取り込み手順については、ヘルプの［詳細な取り込み手順］をご覧ください。

1 原稿種、イメージタイプ、解像度を設定します。

部は初期設定です。

原稿種：

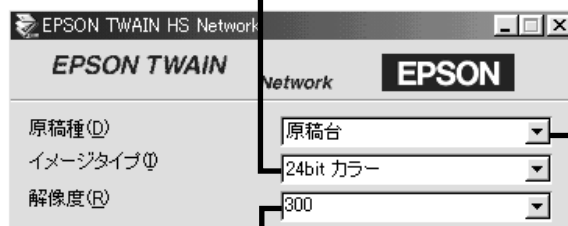
スキャナにオプションのADFを装着していない場合は設定不要です（グレー表示されます）。ADFを使って原稿を取り込むかどうかを選択します。選択肢は次の通りです。

- 原稿台
- ADF－××（××は片面/両面）

ADFを装着していても、スキャナの原稿台（ガラス面）にセットした原稿を取り込む時は、［原稿台］を選択します。

イメージタイプ:

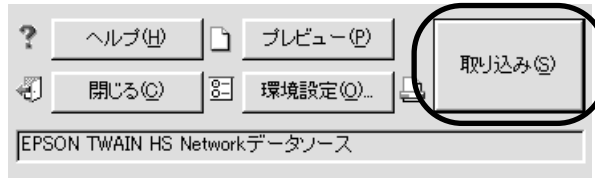
取り込む画像の色数の設定を、リストの中から選択します。定義済みの主な設定は次の通りです。

- 24bitカラー　（カラー取り込みに適した設定）
- 8bitグレー　（白黒写真の取り込みに適した設定）
- モノクロ　（画像やグラフを含まない白黒文書や文字原稿の取り込みに適した設定）

解像度:

取り込み後の画像解像度をリストから選択します。

用途に応じて、次のように設定することをお勧めします。

- インクジェットプリンタでの印刷：300dpi
- ディスプレイ表示用画像：96dpi
- 文書ファイリング：300dpi
- OCR（光学文字認識）：400dpi

2 ［取り込み］ボタンをクリックして、画像を取り込みます。

- 次の場合は、原稿サイズを自動検知して取り込みます。
  ・プレビューせずに原稿台から取り込む場合
  ・ADFから取り込む場合
- ADFから取り込む場合は、ADFにセットされているすべての原稿を連続して取り込みます。
- 取り込んだ画像は、自動的に保存されます（取り込んだ画像は画面表示されません）。

3 ［閉じる］ボタンをクリックし、EPSON TWAIN HS Networkを閉じます。

これで画像の取り込みは終了です。

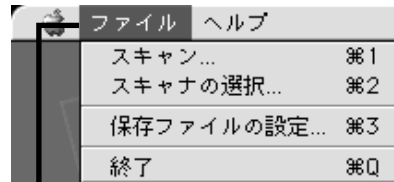
- EPSON TWAIN HS Networkを閉じても、EPSON Scan to Fileは終了しません。再度取り込む場合の手順や、EPSON Scan to Fileの終了方法などについては、下記のページをご覧ください。
  「EPSON Scan to Fileの操作」37 ページ
- EPSON Scan to Fileには、画像を表示したり編集する機能はありません。画像の表示や編集を行う場合は、市販のグラフィックソフトをお使いください。なお、グラフィックソフトで画像を開く際は、[保存ファイルの設定]画面で選択されているフォルダを指定してください。

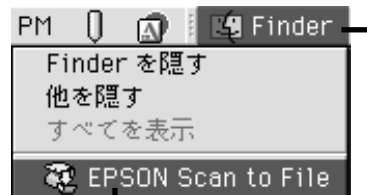
EPSON Scan to Fileの操作

EPSON TWAIN xx Networkを閉じても、EPSON Scan to Fileは終了しません。ここでは、EPSON Scan to Fileの操作方法を説明します。

<Windows>
タスクトレイに常駐します。タスクトレイ上のアイコンを右クリックすると、EPSON Scan to Fileを操作できます。

メニューの各項目については、下表をご覧ください。

<Macintosh>
ファイルメニューからEPSON Scan to Fileを操作できます。

メニューの各項目については、下表をご覧ください。

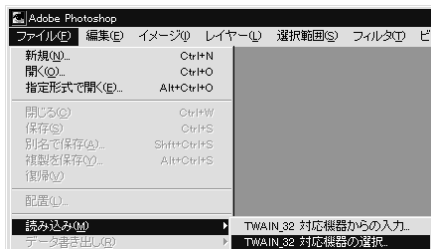
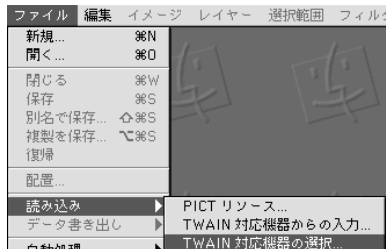
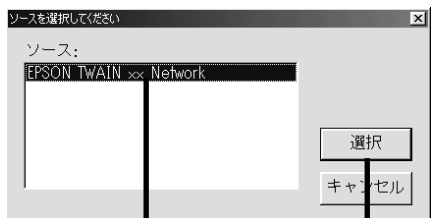
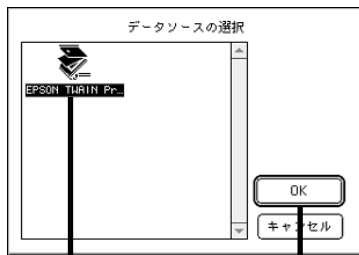
EPSON Scan to Fileがバックグラウンドにある時は、アプリケーションメニューからEPSON Scan to Fileを選択してください。

メニューの項目	説明
スキャン	スキャンを開始します。初期設定では、まず[保存ファイルの設定]画面が表示されます。 Windowsの場合、タスクトレイのアイコンをダブルクリックしても、スキャンを開始できます。
スキャナの選択	[スキャナの選択]画面を表示します。
保存ファイルの設定	[保存ファイルの設定]画面を表示します。 この項目はEPSON TWAIN xx Networkの起動中も有効ですので、EPSON TWAIN xx Networkの起動中に保存ファイルの設定を変更することができます。
ヘルプ	EPSON Scan to Fileのヘルプを表示します。
EPSON Scan to Fileの終了	EPSON Scan to Fileを終了します。

他のアプリケーションでの取り込み

ここでは、Adobe Photoshop 5.0Jを例に、市販のTWAIN対応アプリケーションからEPSON TWAIN xx Networkを起動して画像を取り込む手順を説明します。
アプリケーションによって手順が異なりますので、詳細はお使いのアプリケーションの取扱説明書で確認してください。

1 ［ファイル］メニューの［読み込み］－［TWAIN対応機器の選択］などを選びます。

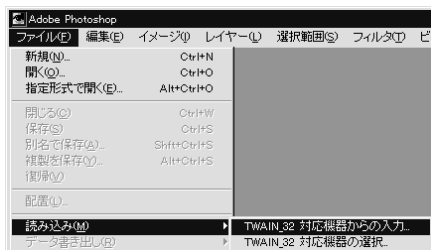
<Windows>

<Macintosh>

2 EPSON TWAIN xx Networkを選択し、［選択］または［OK］ボタンをクリックします。

<Windows>

<Macintosh>

3 ［ファイル］メニューの［読み込み］－［TWAIN対応機器からの入力］などを選びます。

<Windows>

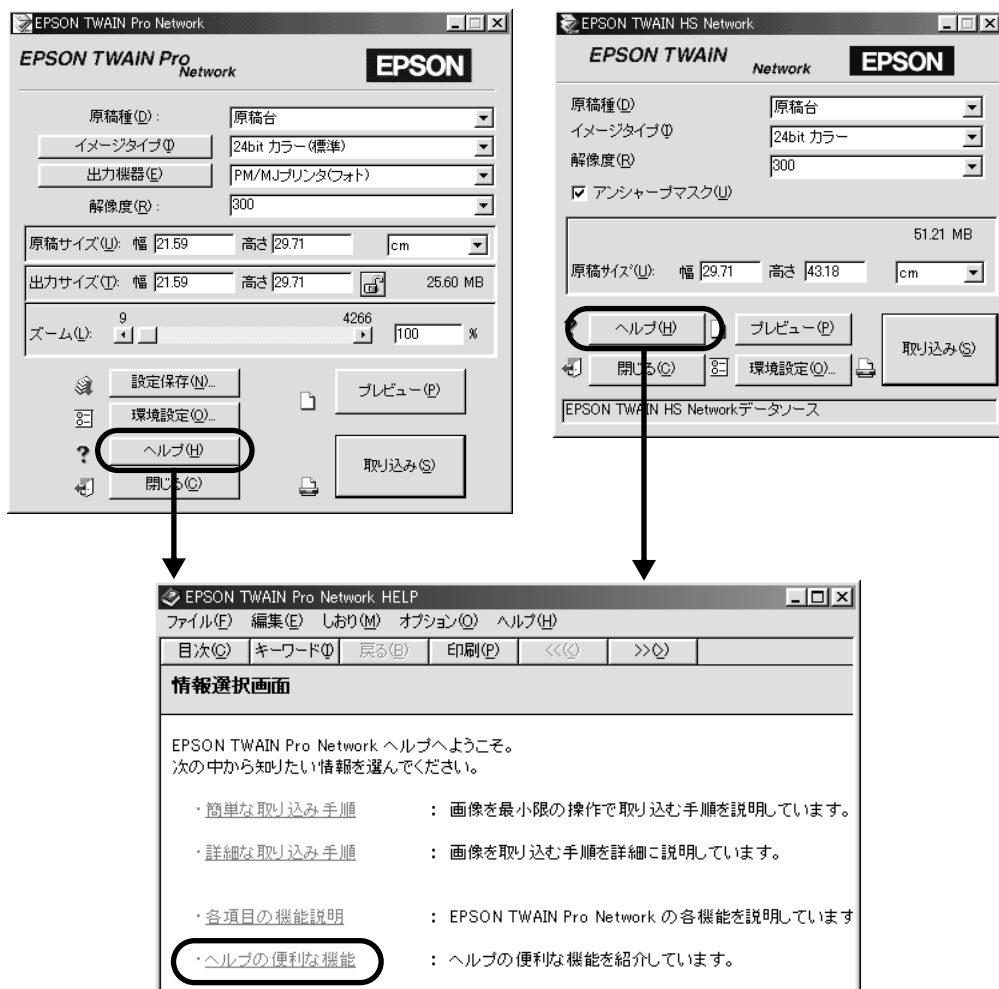
<Macintosh>

EPSON TWAIN xx Network が起動します。EPSON TWAIN xx Network での取り込み手順については、下記のページをご覧ください。
☞「EPSON TWAIN Pro Network での取り込み」32 ページ
☞「EPSON TWAIN HS Network での取り込み」35 ページ

ヘルプとユーザーズガイドのご案内

ヘルプのご案内

ヘルプには次の説明があります。

- 簡単な取り込み手順
- 詳細な取り込み手順
- 用途別一覧表(EPSON TWAIN HS Networkのみ)
- 各項目の機能説明
- 画質調整の基本手順
- 文字原稿の認識率を上げるノウハウ

ヘルプの使い方については、[ヘルプ] ボタンをクリックすると表示される [情報選択] 画面で、[ヘルプの便利な機能] をクリックしてご覧ください。

ユーザーズガイドのご案内（ES-9000Hを除く）

次の内容については、CD-ROMマニュアル［ユーザーズガイド］をご覧ください。
ユーザーズガイドは、スキャナに付属のソフトウェアCD-ROMに収録されています。

ポイント

ユーザーズガイドの開き方や使用方法については、以下のページをご覧ください。
スタートアップガイド「ユーザーズガイドのご案内」84ページ
なお以下のページに、ユーザーズガイドのもくじがあります。
スタートアップガイド「ユーザーズガイド（CD-ROM）のもくじ」10ページ

■取り込み・ノウハウ

次の内容を説明しています。

詳細な取り込み手順
画像を取り込む手順を詳細に説明しています。

42/48bitで取り込むメリット（ES-6000HSを除く）
48/48bitで取り込むことのメリットを説明しています。

出力サイズを指定しての取り込み方
出力サイズ（取り込み後の画像サイズ）を指定して取り込む方法を説明しています。

写真をきれいに取り込むノウハウ
EPSON TWAIN Proでの画質調整の方法を説明しています。

文字原稿の認識率を上げるノウハウ
OCR（光学文字認識）での認識率を上げる方法を説明しています。

■オプションの使い方

次の内容を説明しています。

オプションの紹介
スキャナ用のオプションを紹介しています。

透過原稿ユニットの使い方（ES-6000HSを除く）
透過原稿ユニットの取り付け方、フィルムのセットの仕方、フィルムの取り込み方などを説明しています。

ADF（オートドキュメンドフィーダ）の使い方
ADFの取り付け方、原稿のセットの仕方、ADFからの取り込み方などを説明しています。

■困ったときは

困ったときの対処方法を説明しています。

■付録

次の内容を説明しています。

日常のお手入れ

移動時のご注意

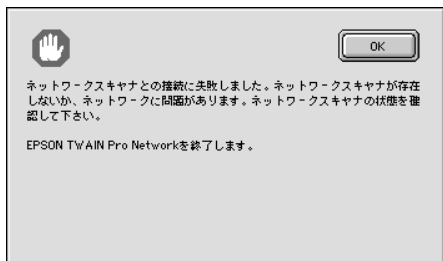
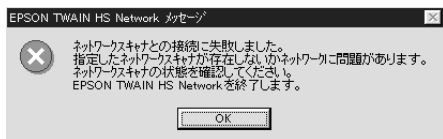
基本仕様

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

トラブルが発生したら

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

EPSON TWAIN xx Networkのトラブル

EPSON TWAIN xx Networkインストール後の接続設定でエラーが出る、またEPSON TWAIN xx Networkの起動時や使用時にエラーが出る場合の対処方法を説明しています。

「エラーメッセージ」44 ページ

取り込んだ画像の品質上のトラブル

モアレが発生した例

取り込んだ画像が暗い、色がおかしい、モアレ（斑点のような模様）が出るなどの対処方法を説明しています。

ユーザーズガイド「画像品質上のトラブル」

エラーメッセージ

クライアントPCでエラーメッセージが表示された場合は、エラーの内容に応じて次のように対処してください。

接続テストでのエラー

メッセージ	対処
ネットワークスキャナとの接続に失敗しました。 指定したネットワークスキャナが存在しないかネットワークに問題があります。 ネットワークスキャナの状態を確認してください。	①入力したIPアドレスが正しいか確認してください。 ②ネットワークスキャニングボックスやスキャナの電源がオンになっているか確認してください。 ③ネットワークケーブルまたはインターフェイスケーブルの接続を確認してください。 ④HUBが正常に動作しているか確認してください。 ⑤お使いのコンピュータまたはネットワークスキャニングボックスのネットワーク設定に問題がないか、ネットワーク管理者に相談の上、確認してください。 上記を確認してもエラーが発生する場合は、ネットワーク自体の問題が考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。
指定したネットワークスキャナは存在します。 ネットワークスキャナに問題があり使用できません。 ネットワークスキャナの状態を確認してください。	スキャナの電源がオンになっているか、またはネットワークスキャニングボックスが正常に動作しているか確認してください。
指定したネットワークスキャナは存在します。 ネットワークスキャナは下記のユーザーが使用中です。 利用者：XXX.XXX.XX.XX	他の人（メッセージに表示されるアドレスのユーザー）がEPSON TWAIN xx Networkを使用中です。そちらのEPSON TWAIN xx Networkが閉じられるまでお待ちください。
ネットワークリソースの初期化に失敗しました。システムを再起動してください。	WindowsまたはMacintoshを再起動してください。

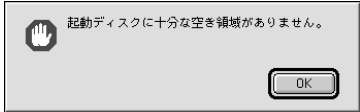
メッセージ	対処
データの受信に失敗しました。 ネットワークスキャナかネットワークに問題が発生しました。ネットワークスキャナの状態を確認してください。	①データの送受信中に、ネットワークケーブルが外れた可能性があります。接続を確認してください。 ②HUBが正常に動作しているか確認してください。 ③スキャナが遠隔地にあるため、所定の時間内にデータが受信できませんでした。 コントロールパネルの[EPSON TWAIN xx Network]でタイムアウト時間を長くしてください。 「タイムアウト時間の設定」53 ページ
このスキャナはサポートされていません。 (EPSON TWAIN HS Networkのみ)	ES-9000Hをお使いください。その他のスキャナではEPSON TWAIN HS Networkは使用できません。

EPSON TWAIN xx Network起動時のエラー

TWAINデータソースまたはインターフェイスのエラー

	Windows	Macintosh
エラーの例	EPSON TWAIN HS Network メッセージ ネットワークスキャナとの接続に失敗しました。 指定したネットワークスキャナが存在しないかネットワークに問題があります。 ネットワークスキャナの状態を確認してください。 EPSON TWAIN HS Networkを終了します。 OK EPSON Scan to File 選択されたスキャナドライバを起動できません。 スキャナの電源や、接続を確認してください。 OK Twain_32 TWAIN 対応入力機器を開くことができません。Windows ディレクトリ内の TWAIN ディレクトリに正しいスキャナドライバがあることを確認してください 。 OK ※ エラー内容はTWAIN対応アプリケーションにより異なります	OK ネットワークスキャナとの接続に失敗しました。ネットワークスキャナが存在しないか、ネットワークに問題があります。ネットワークスキャナの状態を確認して下さい。 EPSON TWAIN Pro Networkを終了します。 選択されたスキャナドライバを起動できません。 スキャナの電源や、接続を確認してください。 OK 「読み込み」コマンド処理を完了できません。スキャナをインストールしていません。 OK ※ エラー内容は TWAIN 対応アプリケーションにより異なります
原因·対処	次のようにTWAINデータソースを選択していないため	
	ソースを選択してください ソース: EPSON TWAIN xx Network 選択 キャンセル	データソースの選択 EPSON TWAIN Pr... OK キャンセル
	EPSON TWAIN xx Networkを起動する前に、TWAIN対応アプリケーションでTWAINデータソースを選択してください。選択方法はTWAIN対応アプリケーションによって異なりますので、TWAIN対応アプリケーションの取扱説明書でご確認ください。	

ポイント

EPSON Scan to Fileでの選択方法については、下記のページをご覧ください。
「スキャナの選択」29 ページ

ネットワークに関するエラー

メッセージ	対処
ネットワークスキャナとの接続に失敗しました。 指定したネットワークスキャナが存在しないかネットワークに問題があります。 ネットワークスキャナの状態を確認してください。 EPSON TWAIN xx Networkを終了します。	①コントロールパネルから[EPSON TWAIN xx Network]を開き、正しいIPアドレスが登録されているか確認の上、テストしてください。 「ネットワークスキャナの接続設定」59ページ ②スキャナやネットワークスキャニングボックスの電源がオンになっているか確認してください。 ③ネットワークケーブルまたはインターフェイスケーブルの接続を確認してください。 ④HUBが正常に動作しているか確認してください。 ⑤お使いのコンピュータやネットワークスキャニングボックスのネットワーク設定に問題がないか、ネットワーク管理者に相談の上、確認してください。 上記を確認してもエラーが発生する場合は、ネットワーク自体の問題が考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。
ネットワークスキャナに問題があるため使用できません。 ネットワークスキャナの状態を確認してください。 EPSON TWAIN xx Networkを終了します。	スキャナの電源がオンになっているか、またはネットワークスキャニングボックスが正常に動作しているか確認してください。
ネットワークスキャナは下記のユーザーが使用中です。 利用者：XXX.XXX.XX.XX	他の人（メッセージに表示されるアドレスのユーザー）がEPSON TWAIN xx Networkを使用中です。そちらのEPSON TWAIN xx Networkが閉じられるまでお待ちください。
接続するネットワークスキャナの情報がありません。EPSON TWAIN xx Network設定プログラムでネットワークスキャナの情報を登録してください。	コントロールパネルから[EPSON TWAIN xx Network]を開き、ネットワークスキャニングボックスのIPアドレスを登録してください。 「ネットワークスキャナの接続設定」59ページ

メッセージ	対処
データの受信に失敗しました。 ネットワークスキャナかネットワークに問題が発生しました。ネットワークスキャナの状態を確認してください。 EPSON TWAIN xx Networkを終了します。	①データの送受信中に、ネットワークケーブルが外れた可能性があります。接続を確認してください。 ②HUB が正常に動作しているか確認してください。 ③スキャナが遠隔地にあるため、所定の時間内にデータが受信できませんでした。 コントロールパネルの[EPSON TWAIN xx Network]でタイムアウト時間を長くしてください。 「タイムアウト時間の設定」53 ページ
データの送信に失敗しました。 ネットワークスキャナかネットワークに問題が発生しました。ネットワークスキャナの状態を確認してください。 EPSON TWAIN xx Networkを終了します。	
Open Transportがインストールされていないか、バージョンが古いです。 Open Transport 1.1.1以上をインストールしてください。 （EPSON TWAIN Pro Networkのみ）	Open Transportがインストールされていません。Open Transport 1.1.1以上をインストールしてください。その後、再度EPSON TWAIN Pro Networkを起動してみてください。

EPSON TWAIN xx Network使用時のエラー

ハードディスクやメモリ関連のエラー

	Windows	Macintosh
エラー	EPSON TWAIN Pro 指定された範囲が広すぎます。解像度またはズームを下げるか、取り込み範囲を小さくしてください。 OK	起動ディスクに十分な空き領域がありません。 OK OK EPSON TWAIN Pro Networkが、命令を実行するのに必要なメモリが足りません。 EPSON TWAIN Pro Networkを使用するアプリケーションの、メモリ割り当てサイズを増やしてください。
原因・対処	これらのエラーは、コンピュータのハードディスクやメモリの空き容量が不足している時に起こります。Macintoshの場合は、TWAIN対応アプリケーションへのメモリ割り当てが不十分であることも考えられます。空き容量を確保してください。 「エラーが出て画像を取り込めない」51 ページ	

ネットワークに関するエラー

メッセージ	対処
ネットワークスキャナでストップボタンが押されました。 EPSON TWAIN xx Networkを終了します。	他の人がネットワークスキャニングボックスなどのストップボタンを押したため、EPSON TWAIN xx Networkが強制終了されました。 再度EPSON TWAIN xx Networkを起動してください。
一定時間アクセスがなかったため、コネクションが切断されました。 EPSON TWAIN xx Networkを終了します。	約15分間EPSON TWAIN xx Networkの操作がなかったため、EPSON TWAIN xx Networkが強制終了されました。 取り込みを行う場合は、再度EPSON TWAIN xx Networkを起動してください。
ネットワークスキャナでネットワークに関するエラーが発生しました。 ネットワークスキャナの状態を確認してください。 EPSON TWAIN xx Networkを終了します。	ネットワークスキャニングボックスとスキャナの接続ケーブルが外れたか、またはネットワークスキャニングボックスが何らかの原因により動作不能状態になった可能性があります。 接続を確認してください。または、ネットワークスキャニングボックスの電源を入れ直してみてください。

オプション使用時のエラー

メッセージ	対処
ADFに用紙がありません。	ADFに原稿をセットしてください。
ADFの用紙が詰まりました。	下記を参照し、詰まっている原稿を取り除いてください。 ☞ユーザーズガイド「ADF使用時のトラブル」
オプションのカバーが開いています。	オプションまたはオプションのカバーをしっかり閉じてください。
原稿台に用紙が残っていないことを確認してください。	ADFから取り込む場合は、原稿台に用紙を置かないでください。
データの受信に失敗しました。	• 取り込み動作中は、オプションまたはオプションのカバーを開けないでください。 • ADF で用紙が詰まった場合にも、このメッセージが表示される場合があります。その場合は、下記を参照して対処してください。 ☞ユーザーズガイド)「ADF使用時のトラブル」

画像取り込み時のトラブル

EPSON TWAIN xx Networkを起動できない

エラーメッセージが表示される場合は、以下のページを参照して対処してください。

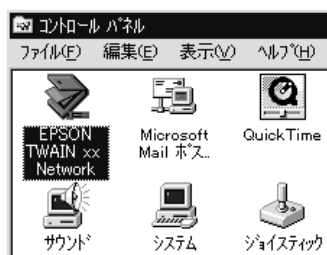
「EPSON TWAIN xx Network起動時のエラー」46 ページ

チェック

［EPSON TWAIN xx Network］で、ネットワークスキャニングボックスのIPアドレスを正しく入力または選択していますか？

コントロールパネルから［EPSON TWAIN xx Network］を開き、IPアドレスが正しいか確認してください。

「ネットワークスキャナの接続設定」59 ページ

Windows

Macintosh

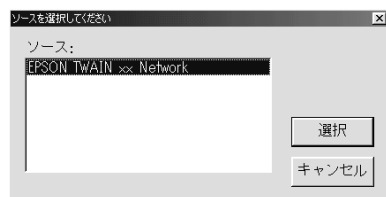
Windows NT/2000でお使いの場合は、ログインユーザーごとにIPアドレスが設定されているか確認してください。設定されていない場合は、以下のページを参照して設定してください。

「ネットワークスキャナの接続設定」59 ページ

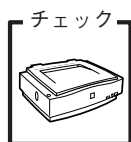
チェック

TWAIN対応アプリケーションで、TWAINデータソースを正しく選択していますか？

お使いのTWAIN対応アプリケーションの取扱説明書を参照し、TWAINデータソースの選択画面で［EPSON TWAIN xx Network］を選択してください。

Windows

Macintosh

EPSON Scan to Fileでの選択方法については、下記のページをご覧ください。

「スキャナの選択」29 ページ

チェック

スキャナ側の準備はできていますか？

ネットワークスキャニングボックスがスキャナとネットワークに正しく接続されていて、ネットワークスキャニングボックスとスキャナの電源がオンになっているか確認してください。

他のTWAIN対応アプリケーションで試してみてください。
何らかの原因により、TWAIN対応アプリケーションの動作が不安定になっていることも考えられます。他のTWAIN対応アプリケーションから起動してみてください。または、コンピュータを再起動してみてください。

インターネットにダイヤルアップ接続していませんか？
Windows 95/98/Meでインターネットにダイヤルアップ接続している場合、Internet Explorerの使用中にEPSON TWAIN xx Networkを起動すると［スキャナが見つかりません］などと表示されて接続できない場合があります。
この場合は、Internet ExplorerをLANを使用してインターネットに接続するように設定してください。
ただしこの場合、Internet Explorerのアイコンをダブルクリックしてもインターネットに接続できません。必要に応じて、設定を元に戻してください。

エラーが出て画像を取り込めない

ハードディスクに、必要な空き容量がありますか？
ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の2倍以上の空き容量が必要です。不足している場合は、不要なデータを削除したり、ハードディスクを増設するなどして必要な容量を確保してください。取り込む画像データ容量の目安は、EPSON TWAIN xx Networkの［出力サイズ］または［原稿サイズ］項目で確認できます。
なお、フォトレタッチソフトを使用している場合、フォトレタッチソフトが仮想記憶領域として多くの容量を使用していることがあります。必要に応じて、ハードディスクを増設してください。

メモリの空き容量は十分にありますか？
次の時は、メモリの空き容量が減って画像が取り込めないことがあります。
1. 複数のアプリケーションを同時に使用している
2. 他のアプリケーションで大きなデータを扱っている
3. クリップボードに大きなデータがある
これらの場合、アプリケーションの動作が遅くなるなどの症状が現れます。次のように対処して空きメモリを確保してください。
1の場合：他のアプリケーションを終了する
2の場合：他のアプリケーションでデータを保存の上、できればそのアプリケーションを終了する
3の場合：念のため、コンピュータを再起動する

必要なメモリ容量は画像データによって異なりますが、カラー原稿の取り込みでは、64MB以上を推奨します（画像データによっては、さらに多くの容量を必要とします。メモリ容量は、多ければ多いほど有利です）。

Macintoshの場合、TWAIN対応アプリケーションに割り当てたメモリ容量は十分ですか？

TWAIN対応アプリケーションに割り当てたメモリ容量が不十分だと、画像を取り込めないことがあります。この時は、次のように対処してください。

1. TWAIN対応アプリケーションを終了します。
2. TWAIN対応アプリケーションのアイコンをクリックし､[ファイル]メニューから［情報を見る］を選択します（Mac OS 8.5では､[ファイル]－［情報を見る］－［メモリ］を選択します)。
3. ［メモリ必要条件］項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］をそれぞれ設定します。最適な設定値はアプリケーションによって異なりますので、お使いのアプリケーションの取扱説明書で確認するか、またはアプリケーションメーカーにお問い合わせください。基本的には、アプリケーションの推奨サイズ+取り込む画像データ容量の2倍以上の容量を割り当てることをお勧めします。

なお、アプリケーションに割り当てるメモリ容量を増やしすぎると、同時に使用する他のアプリケーションの動作に支障が出ることがありますのでご注意ください。

タイムアウト時間の設定

EPSON TWAIN xx Networkの接続テスト時や起動時に［データの受信に失敗しました］というエラーメッセージが表示された場合は、次の手順でタイムアウト時間の設定を変更してください。

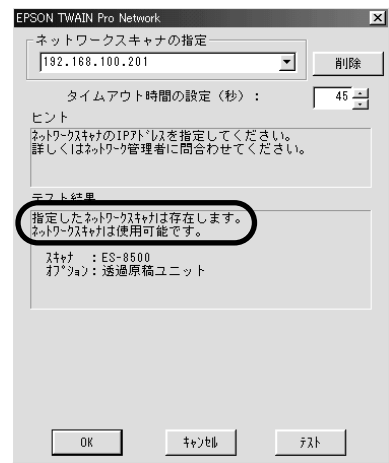
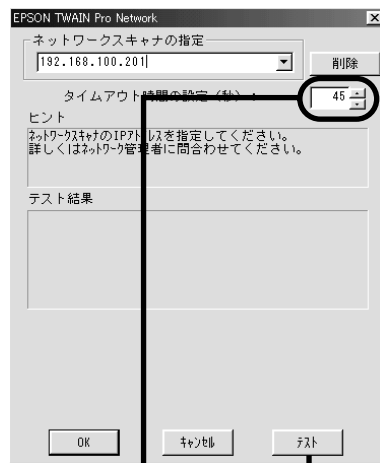
1 コントロールパネルから［EPSON TWAIN xx Network］を開きます。

Windows

Macintosh

2 ①タイムアウト時間を長めに設定し、②［テスト］ボタンをクリックします。右のメッセージが表示されたらデータの受信は成功です。

［▲］ボタンで時間が長く、［▼］ボタンで時間が短くなります。

画面はEPSON TWAIN Pro Networkの場合です。

- 必要な時間は、お使いのネットワーク環境や時間帯などによって異なります。15秒ずつくらいの間隔で時間を長くしていき、エラーが出なくなる時間を見付けてください。
- 設定できる時間は、30秒～300秒（1秒刻み）です。初期設定は30秒です。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

これで設定は終了です。

ソフトウェアの再インストール

何らかの原因でソフトウェアの動作が不安定になっている場合は、次の手順で再インストールしてください。

ソフトウェアの削除

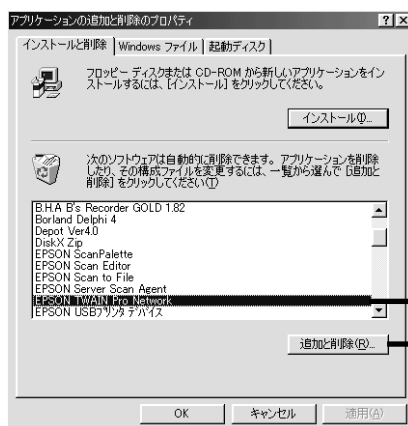
ソフトウェアを再インストールする前に、現在インストールされているソフトウェアを、アンインストールプログラムを使用して削除（アンインストール）してください。

アンインストールプログラムを使用してEPSON TWAIN xx Networkを削除しても、[設定保存]ダイアログに保存されている設定は削除されません。

Windowsの場合

1. ［スタート］ボタン－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

2. ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3. リストから削除したいソフトウェアを選択し、［追加と削除］ボタンをクリックします。

この後は、画面の指示に従って削除してください。

4. 削除が終了したら、コンピュータを再起動してください。

再起動したら、下記を参照してソフトウェアを再インストールしてください。

☞「ソフトウェアのインストール」17 ページ

Macintoshの場合

1. Macintoshに、スキャナに付属のソフトウェアCD-ROMをセットします。

2. 下記のフォルダをダブルクリックして開きます。
EPSON Scan to File　　　　　：［EPSON Scan to File］フォルダ
EPSON TWAIN Pro Network：［EPSON TWAIN Pro NET］フォルダ

3. 下記のアイコンをダブルクリックします。
EPSON Scan to File　　　　　：［EPSON Scan to File Installer］アイコン
EPSON TWAIN Pro Network：［EPSON TWAIN Pro NET インストール］アイコン

4. EPSON Scan to Fileの場合は、［同意］ボタンをクリックします。

5. リストから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］ボタンをクリックします。
削除が実行されます。
画面はEPSON TWAIN Pro Networkでの例です。

6. この後は、画面の指示に従って削除してください。

7. 削除が終了したら、Macintoshを再起動してください。
再起動したら、下記のページを参照してソフトウェアを再インストールしてください。
「ソフトウェアのインストール」17 ページ

最新のソフトウェア入手方法

ソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページにより最新版の提供を行う予定です。

ポイント

ソフトウェアのバージョンアップ時期は未定です。

インターネット

エプソン販売のホームページアドレスは次の通りです。
http://www.i-love-epson.co.jp

インターネット経由でのダウンロード[*1]・解凍[*2]・インストール方法については、ホームページに記載されていますので、そちらをご覧ください。なお、インストールする前に、旧バージョンのソフトウェアを削除してください。

「ソフトウェアの削除」54 ページ

*1 ダウンロード： パソコン通信やインターネット上に登録されているデータを、ネットワーク通信を介して自分のコンピュータに保存することです。

*2 解凍： ダウンロードしたファイルは圧縮（複数のファイルをまとめて、データ容量を小さくすること）されています。解凍とは、圧縮されているデータを元のファイルに復元することです。

CD-ROMでの郵送

エプソンディスクサービスで承っております。郵便局へ実費をお振り込みいただくと、郵送にてお送りいたします。
申込方法の詳細はエプソンFAXインフォメーションでご確認ください。FAXインフォメーションの番号は裏表紙にあります。

付録

ここでは、次の内容について説明しています。

インストールによって登録される内容

EPSON TWAIN xx Network（Windows）

以降の画面は、Windows 95でのものです。他のOSでは、画面表示が多少異なります。

コントロールパネル

[EPSON TWAIN xx Network] アイコンが登録されます。

詳細は以下のページをご覧ください。

「ネットワークスキャナの接続設定」59 ページ

EPSON TWAIN Pro Network（Macintosh）

コントロールパネル

[EPSON TWAIN Pro NET] アイコンが登録されます。

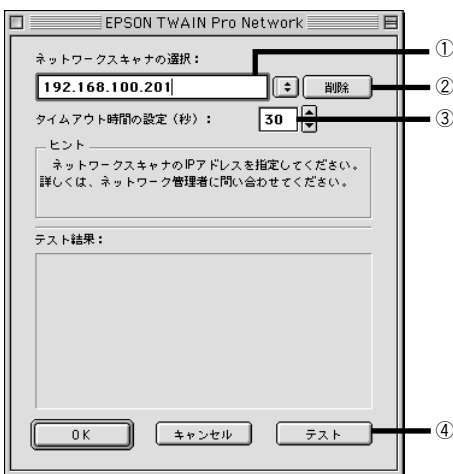
詳細は以下のページをご覧ください。

「ネットワークスキャナの接続設定」59 ページ

ネットワークスキャナの接続設定

コントロールパネルの［EPSON TWAIN xx Network］で、ネットワークスキャナの接続設定を行えます。

Windows

Macintosh

画面はEPSON TWAIN Pro Networkの場合です。

①[ネットワークスキャナの指定]ボックス

ネットワークスキャナを新規登録する時は､ここにネットワークスキャナ（ネットワークスキャニングボックス）のIPアドレスを入力します。最大5台まで登録できます。
ネットワークスキャナを複数登録した場合は、ここで使用したいネットワークスキャナのIPアドレスを選択することにより、使用するスキャナを切り替えます。

②[削除]ボタン

このボタンをクリックすると､［ネットワークスキャナの指定］ボックスに表示されているIPアドレスを削除します。IPアドレスを間違えて入力した時などにお使いください。

③タイムアウト時間の設定

ネットワーク通信の確立や、データ送受信のタイムアウト時間を設定します。
タイムアウト時間は30秒から300秒の間で設定できますが、通常は変更しないでください。

④[テスト]ボタン

このボタンをクリックすると､［ネットワークスキャナの指定］ボックスに表示されているIPアドレスのネットワークスキャナとの通信をテストします。
テストの結果は、［テスト結果］項目に表示されます。

用語集

英数字

API:

Application Program Interfaceの略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のあるAPIを定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAINとは、スキャナを制御するためのAPIの規格。

DHCP:

DHCPはDynamic Host Configuration Protocol（動的ホスト構成プロトコル）の略。クライアントPCの起動時に、DHCPサーバが自動的にIPアドレスとその関連情報を割り当てる仕組み。
→ TCP/IP、クライアント

Ethernet(イーサネット):

コンピュータやワークステーションなどで使われるネットワーク方式のこと。もっとも広く普及している方式。
通信速度は10Mbpsまたは100Mbps。接続形態には、10BASE-T、100BASE-TXなどがある。
→ 10BASE/100BASE

HUB(ハブ):

10BASE-T/100BASE-TXのケーブルを束ねるための、ネットワークの接続装置。
10BASE-T/100BASE-TXでは、各コンピュータを直接接続するのではなく、ハブを介してスター状に接続するため、クライアントPCの移動や増設の際に、ネットワークを停止する必要がない。
→ 10BASE/100BASE、クライアント

IPアドレス:

IPはInternet Protocolの略。TCP/IPプロトコルによるネットワークで使われるアドレス（識別子）で、これによりネットワーク上でコンピュータを特定する。
IPアドレスは数字の羅列（192.168.100.200など）なので、インターネットの世界では、通常は分かりやすい名称（ホスト名）を使用する。
→ TCP/IP、ホスト名

IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続・電子メールなど）を行う際には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/index-j.html）に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者にご相談ください。
なお、IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスを使用できます（RFC1918で規定されています）。
プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～10.255.255.254
172.16.0.1 ～172.31.255.254
192.168.0.1 ～192.168.255.254

OCR:

Optical Character Recognitionの略で、光学文字認識の意。印字された文字を読み取り、テキストデータ化すること。汎用のスキャナを用いる場合は、OCRソフトが必要になる。なお、専用の光学文字認識装置の場合は、Optical Character Readerになる。

Open Transport:

Mac OSのネットワーク環境モジュールのこと。Open Transportにより、他の形態のネットワークを利用することができる。

TCP/IP:

TCP/IPはTransmission Control Protocol/Internet Protocolの略。コンピュータ・ネットワーク内の通信で使用される、世界的な標準プロトコルのこと。
→ プロトコル

TWAIN（トゥェイン）：

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体もTWAINと呼ばれる。
付属のEPSON TWAIN xx Networkは、このTWAIN　規格に対応しているので、各種TWAIN対応アプリケーションから画像を直接取り込むことができる。
→ API

10BASE/100BASE（テンベース／ヒャクベース）：

Ethernetの仕様で定められたケーブル接続の規格。10BASEでは、ツイストペアケーブル（より対線）を使う10BASE-Tが主流。
10BASEの機構をそのまま利用し、通信速度を100Mbpsに高めた規格を100BASE-TXと言う。
→ Ethernet

アイウエオ

解像度（resolution）：

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹き付けて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約25.4mm｛1インチ｝幅にいくつあるかを［印刷解像度］と言い、単位はdpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度：→画像を取り込む時に、EPSON TWAIN Pro Networkで設定する解像度

画像データ自体を構成する画素（点）が約25.4mm｛1インチ｝幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。

表示解像度：

画像をコンピュータのディスプレイに表示した時に、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

クライアント（Client）：

ネットワーク上でサーバの提供するサービスを受けるコンピュータのこと。クライアントPCとも言う。クライアントPCを使用する人を、一般にユーザーと言う。

クリップボード（clip-board）：

ソフトウェア間でデータを交換する時に、データを保存する場所のこと。メモリを使用する。

サーバ（Server）：

ネットワーク上でクライアントPCにさまざまなサービスを提供するコンピュータのこと。
サーバを管理する人を、ネットワーク管理者またはシステム管理者などと言う。

セグメント：

ネットワークの単位。各種接続機器を使ってセグメントを中継することで、ネットワークの規模が拡大される。

ダイアルアップ：

電話回線を使って必要な時だけ外部（プロバイダー）に接続すること。

ドラッグ(drag):

マウスボタンを押したまま、マウスを動かしてアイコンなどを移動すること。コピーなどの操作で使用する。

ネットワーク(Network):

データなどを伝送する通信網のこと。広域のネットワークをWAN（Wide Area Network）と言い、同一建物内などのネットワークをLAN（Local Area Network）と言う。

ネットワーク管理者:

サーバ（ネットワーク）を管理する人のこと。システム管理者などとも言う。
→ サーバ

プロトコル(Protocol):

異なったシステム間、ソフトウェア間で情報通信を行う場合に必要とされる、通信上のルール/約束事/規約のこと。接続の開始/終了から電子メールの形式まで、さまざまな規約を定めている。語源は外交儀礼。

ホスト名(Host name):

インターネットに接続されたコンピュータを特定する名称のこと。インターネットでは、インターネット上のコンピュータに識別子（IPアドレス）を付けることでコンピュータを特定し、通信するが、IPアドレスは数字の羅列（192.168.100.200など）のため、通常は分かりやすいホスト名（http://www.i-love-epson.co.jpなど）を用いる。
なお、ホスト名を使用するには、DNSサービスが必要。
→ IPアドレス

メモリ(memory):

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域と言える。
画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

索引

複製上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について
書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4)運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6)エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。